

第 27 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2015 年 9 月 15 日(火) 10：00～12：00
場 所：市コミュニティホール 大会議室 A
出席者：15 団体 25 名（オブザーバー2 団体 4 名含む）
進行：酒井（事務局）
文責：佃（事務局）

1. 事務局連絡（10：00～10：05）

➤ 事務局担当スタッフの変更

9 月 1 日より、事務局を務めるまちづくり協働センター内でのプラットフォーム担当が、三浦・酒井・佃 → 酒井・山本・佃に変更。山本は、引き続きつどいの丘商店街事務局として支援連絡調整会議に参加。

➤ 新規登録団体

9 月 7 日付けで、みんなのしるし合同会社（三陸国際芸術祭 事務局）が登録。震災後に企業した会社で事務所は大船渡。活動分野はコミュニティ。郷土芸能を通じた世界と被災地との交流として三陸国際芸術祭を開催。陸前高田をはじめ気仙管内で活動している。

2. 活動報告（全体）（10：05～10：30）

・全参加団体より活動報告、および今後の活動やイベント告知などを共有。
質問あれば適宜。各団体 2～3 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 27 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	高田大隅つどいの丘商店街／山本	9/9 つどいの丘商店街で避難訓練を実施。商店街施設からの避難・通報、消火（消火器の使い方等）の訓練を行った。
2～4	陸前高田市復興支援連絡会／島倉	8 月は中間支援としての案件（県外からの依頼が多い）が多く、各仮設住宅やコミュニティスペースで復興支援イベントを開催。地域の方も参加できるようにマッチングしていきたい。9 月も中間支援が中心となる予定。
5～6	NEC ネットエスアイ（ひまわりハウス）／池田	8 月は水沼久直さん田崎飛鳥さんの絵画展、今月は矢作出身の梅木秀徳さんによるホーミー・馬頭琴演奏会等のイベントを開催。最近では、起業家支援としての場所貸しや ICT 活用

		のアドバイス等も行っている。
7	いわて生協／池田	ふれあいサロンやボランティアの受け入れを継続。8/23は、関西3生協（おおさかパルコープ・よどがわ市民生協・ならコープ）のバスボラが、陸前高田市内3カ所に分かれ屋外で作業した。※いわて生協の広報誌「ハローコープ」を配布。
8	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／木下	8月下旬に、東北の子どもたちが国連事務総長特別代表を訪問、対談を行った。陸前高田から2名が参加。詳細はブログに掲載中。また、陸前高田市の新しい図書館に子どもたちの声を反映するために活動してきた絆クラブが、意見書をまとめてパブリックコメントとして提出した。
9 ～10	大船渡地区被災者相談支援センター／平野	被災者相談支援センターでは、相談員による相談、司法書士・弁護士・ファイナンシャルプランナーの専門家相談、また、住宅再建相談会を行っている。8月の相談件数は84件で若干減少。主に住宅再建に関する相談。10/24（土）に「復興の現場見学会 in 高田松原」を開催予定。
11 ～12	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	今年度の「まちづくりコーディネーター育成講座」を全4回で開催予定。皆さんの活動の中で興味のある方がいたらご紹介いただきたい（各回ごとの参加も可）。また、新着の助成金情報の中で、自治会や住民グループでも申請可能なものもあるので、必要な方がいたらお声掛け下さい。
13	いわて連携復興センター／葛尾	復興庁の「被災者支援コーディネート事業」として、地域コミュニティや子ども・教育、商工・観光・産業の分野の案件を随時復興庁に挙げ、打ち合わせをしながら進めている。日々の活動の中での課題や困り事あればぜひ教えて欲しい。 >具体的にどんなことが対象？ 仮設からなかなか出られない方々の行き場を確保するためには/遊び場がない/公営住宅で社協さんが廻りきれない部分をどうするか/移動の交通手段がない等
14～ 15	もっちいと森の仲間たち／望月	毎月8のつく日（8・18・28日）に大船渡の夢商店街で「夢市」を行っている。商店街設立当初は団体やボランティアが多かったが現在は当団体のみ。野菜や木の苗等をプレゼントしていたが、秋冬は無くなるので10月頃からお汁粉をふるまう予定。また、陸前高田市内では、佐藤たね屋さんを通じて、仮設へ秋野菜を配布。明日は、モビリアで草刈りボランティアの予定。下和野公営住宅へは定期的に、また他の公営住宅でも要望があればサポートしたいと考えている。

16 ～18	遠野山・里・暮らしネットワーク／林	ほっとひといきは月4回を継続。公営住宅を中心とした自治会運営のサポートを、ほっとひといきや集会所等での交流会・お茶会を続けながら様子を見る。公営住宅の見守りについては、「しんきんの絆」の助成を10月から受けることができたので、具体化していきたい。また、「真如苑 いわて・地域のきずな助成」にも申請を検討している。
19	岩手大学 三陸復興推進機構／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・8月は社協のサロンに大学院生と一緒に参加し、タッピングタッチという手法を使ったリラクゼーションを行い好評だった。ニーズがあればお声掛け下さい（出向くことが可能）。 ・11月から、「こころの話」をテーマに市民講座を行う予定。時間帯や内容について意見要望があれば教えて欲しい。 ・今年度から、トラウマ介入の精神療法（EMDR：WHO 推奨）を導入し、カウンセリングを行っている。お困りの方がいたら紹介していただきたい。
20	ハマトラ／篠原	7月に横田町でフットサル交流会を開催。野球部の練習があったため低学年と女の子の参加が多かったが、練習後野球部の男子たちも加わり賑わった。お昼の交流会には、仮設の高齢者が13名参加。今後も継続予定で、次回は11月頃。
21	パクト／桑久保	9月は法人の年度末となるので、次年度以降の事業計画について検討していきたい。また、二又復興交流センターでは、3年目となった富士通の新入社員研修「社会貢献プログラム」を年内いっぱい受け入れる。前年は、延べで500の方が陸前高田で活動している。
22	市教育委員会 生涯学習課／佐々木	<p>初めての参加。担当事業について紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級：地域の子育て支援センター・小中学校の保護者を対象に、保護者が学べるような学級を開催。 ・乳幼児学級：2期が9/14から始まり、18組の未就学児の親御さんの参加があった。 ・中高生ボランティア：市内の中高生を対象に募集し、夏休み期間中に実施。 ・家庭教育交流会：保護者の方約30名の参加があった。
23 ～25	市被災者支援室／佐々木	仮設住宅の意向調査（実施：復興対策室）の提出が確認できなかった方々へのフォローアップを、復興支援連絡会と連携して行っている。現在継続中。今後の目途が立たず未定の方もあるので、未定の方へのフォローを行っていく。

3. 活動分野ごとの討議・意見交換（グループ議論）

◇「今後の連携・協力・サポート体制構築に向けた情報の整理と一覧化および意見交換」

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 意見交換

- ・ 仮設住宅から公営住宅や高台移転等に移る人たちから、新しいコミュニティを共にする人たちと事前に集まりたいという声が出ている。その理由として、暮らしのルールを作りたい・景観を揃えたい（高台移転の場合）等も挙げられるが、一番は隣近所が気になる・新しいコミュニティを作りたいということではないか。
- ・ 前回会議から 1 ヶ月の間に、住民の中で、仮設住宅から公営住宅へ入居希望の方を対象に、既に公営住宅に入居されている方から話を聞く勉強会を開いた方がいた。目的は、公営住宅に移った後の生活の不安を入居前に解消するため。内容的には愚痴が多かったようだが、愚痴や不満の中からも参考にできる部分があるので貴重な声だったのではないか。

→次回の開催は未定だが、もし行われるのであれば、誰がどのようにサポートできるか？

案内・場づくり：復興支援連絡会

送迎：遠野山・里・暮らしネットワーク

場をまわす（ファシリテーション）：まちづくり協働センター

- ・ 各公営住宅の共益費の金額に差があることについて。空室が多いところは、その分金額も高い。公営住宅の入居者を増やすためには、何かメリットがあれば良いのではないか（例えば、駐車を 2 台分使っても良い等）。

<2G 子ども・教育/子育て・女性>

➤ 意見交換

- ・ これまで発達障がいの子どもの増加やその状況について議論を行う中で、まず自分たちが発達障がいについて知ろうということになり、今日の会議前に、佐々木先生（岩手大学）に来ていただき勉強会を開催。
- ・ 「ふれあい教室」への訪問は、継続して日程調整をしていく。
- ・ 以前訪問した「あゆっこ」「きらりん」「にこにこ」から、年間スケジュールをいただき、具体的に今後サポートできることを相談・提案していきたい。
- ・ 元気に遊んでいる姿が見られると良いや親子で安心感のある場所で遊ばせてあげたい等、『子ども』という部分のゴールは見えているので、ゴールに向かって何から取り掛かれるかというところを次回から掘り下げていきたい。

<3G 商工・観光・産業・その他>

➤ 意見交換

- ・ 市内イベントに関して。10～11 月にかけてさまざまなイベントが行われるので、一覧化した方がわかりやすいのでリストを作成し、共有する。
- ・ 入浴施設のスタンプラリーについて、陸前高田市内に 3 カ所候補を挙げそこを巡るコースプランを立てる。コストをかけず、出来ることから進めていきたい。記念品等に関しては次回議論していきたい。
※市内の方に市内にある施設を巡っていただくということで、対象を市外から市内の方へ変更。

4. その他

- ・ 10/18（日）全国太鼓フェスティバルについて
現在、チケット（1 枚 2,000 円）を販売中。
ボランティア（太鼓の運搬や誘導、野外での販売等）を募集中。※市内外に問わず

【次回の開催日程】

- ・ 第 28 回 支援連絡調整会議
10 月 20 日（火）10：00～12：00 ※会場及び詳細は別途連絡
第一部：ゲスト いわて三陸ひまわり基金法律事務所 在間文康弁護士
「巡回法律相談から見る仮設住宅住民の現状について」
第二部：活動分野ごとの討議・意見交換

※第一部が変則的となるため通常の各団体の活動報告は行わない。報告・共有したい事項がある方は事前の出欠確認の際に併せてお知らせ下さい。